

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) を使用して、Cisco Catalyst スイッチのバックプレーンの使用率を取得する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco IOS® ソフトウェアを実行する Catalyst OS (CatOS) および Cisco Catalyst 6500/6000 シリーズ スイッチを実行する Catalyst スイッチに適用です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

単一のバックプレーンを備える Catalyst 5000 シリーズなどの従来の Cisco スイッチの場合は、[CISCO-STACK-MIB](#) からの sysTraffic によって、システム バックプレーンの使用率がわかります。sysTraffic の測定値は、スーパーバイザ エンジン カード上にある同じ名前のメータとほぼ一致します。

複数のバックプレーンを備える Catalyst 5500 などのスイッチの場合は、[CISCO-STACK-MIB](#) が

らの sysTrafficMeterTable を使用します。

Cisco IOS ソフトウェアを実行する他の Catalyst スイッチは、異なるアーキテクチャに基づいています。そのため、これらについてはバックプレーンの使用率は取得できません。これらのデバイスの場合は、CPU およびインターフェイスの帯域幅の使用率から、スイッチのパフォーマンスを判定できます。パフォーマンスパラメータを収集するには、『[SNMP を使用した帯域幅使用率の計算方法](#)』および『[SNMP を使った Cisco IOS デバイス上の CPU 使用率収集方法](#)』を参照してください。

関連情報

- [SNMP を使用した帯域幅使用率の計算方法](#)
- [SNMP を使用してCisco IOSデバイスのCPU使用率を収集する方法](#)
- [簡易ネットワーク管理プロトコル \(SNMP\) に関するサポート リソース](#)
- [IP アプリケーション サービス設計テクニカルノート](#)
- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)